

令和6年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化)

開催数：25

国有林	381
都道府県	191
市町村	109
森林組合	57
林業事業体（森林組合を除く）	105
研究機関	15
他省庁	0
その他	40
合計	898

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	特に効率的な施業を推進する森林の有無（国有林）	出席者	目的	内容	写真	
令和6年度 機械下刈（神刈）現地見学会	6月12日	宗谷森林管理署	宗谷森林管理署 小頓別担当区部内 2086林班		国有林	10名	下刈作業の省力化の推進に向け、機械下刈の導入に向けた取り組みの一環とし、機械がどのようなものなのかを実際に見て体験してもらう。	今年度の事業実施地において、実際に機械下刈による作業の様子などを見学。その中で、機械リース元により機械の説明や操作についての説明を実施し、その後参加者が実際に操作を体験。	 <p>下刈機械の操作等の説明</p>
					都道府県	9名			
					市町村	5名			
					森林組合	4名			
					林業事業体（森林組合を除く）	4名			
					研究機関	名			
					他省庁	名			
					その他	2名			
合計	34名								
民有林における機械による下刈の現地検討会	7月18日	下川町 上川総合振興局北部森林室 上川北部森林管理署	下川町 （溪和町有林48林班）		国有林	62名	機械下刈について、国有林の取組み・成果等広くPRするとともに他機関の現状を共有し、民有林での活用に向けた課題解決に各機関協力のもと取組み、下川町での導入を後押しし、他の民有林へ拡大させる。	刈り幅の異なる2機種3台のリモコン式草刈機械を使用してデモンストレーションを行い、事業として活用出来ることを説明。参加者による体験操縦実施後、国有林・道有林の機械下刈りの現状や北海道スマート林業の取組みについて、各機関から説明を行い、今後、機械下刈り面積は大幅に拡大することや機械導入には補助金を活用できるメニューがあることも話題提供した。 意見交換では、リモコン式草刈り機の価格や刈刃の研磨について、処理した伐根の活用、機械導入への課題等についての質問があった。 現地検討会終了後、アンケート調査を行い、その内容を基に11月にフォローアップ意見交換会を予定している。	 <p>リモコン式草刈機のデモンストレーション</p>
					都道府県	33名			
					市町村	12名			
					森林組合	5名			
					林業事業体（森林組合を除く）	25名			
					研究機関	3名			
					他省庁	名			
					その他	8名			
合計	148名								

令和6年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化)

<p>檜山森林管理署「盛土地拵ほか」現地見学会 同勉強会</p>	<p>7月18日</p>	<p>檜山森林管理署及び東大雪支署</p>	<p>檜山森林管理署2216林班ほか</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>16名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業者(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>16名</td></tr> </table>	国有林	16名	都道府県	名	市町村	名	森林組合	名	林業事業者(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	16名	<p>檜山森林管理署において実施している「盛土地拵」の技術・データについて様々な知見を頂き、東大雪支署の「盛土地拵」の取組みとの比較など、更なる推進へ向けて合同で勉強会を開催した。</p>	<p>①砂坂海岸林における保安林整備事業状況 ②盛土地拵実施箇所における現地確認と意見交換 ③東大雪支署取組み(盛土地拵)状況の発表</p>	 <p>盛土地拵箇所の説明</p>
国有林	16名																								
都道府県	名																								
市町村	名																								
森林組合	名																								
林業事業者(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	16名																								
<p>北海道水産林務部森林海洋環境局長による造林地視察検討会</p>	<p>7月24日</p>	<p>北海道森林管理局技術普及課東大雪支署</p>	<p>東大雪支署1319林班</p>	<p>○</p> <table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>10名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>13名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業者(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>23名</td></tr> </table>	国有林	10名	都道府県	13名	市町村	名	森林組合	名	林業事業者(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	23名	<p>クリーンラーチコンテナ苗と大型機械地拵により下列「無実施」の検証と将来の目標林型に向けての検討</p>	<p>①クリーンラーチコンテナ苗植栽による下列省略の概要説明。 ②意見交換の中で、 ・地拵えの方法と成長の早いクリーンラーチを組み合わせることで、下列なしで侵入木や蔓などの発生もなく成林していることに驚きがあった。 ・道庁内においても、今回の現地を参考とさせていただき、民有林における下列作業の省力化に向けた検討していきたい。 等の意見が出されました。</p>	 <p>クリーンラーチ造林地の現地説明</p>
国有林	10名																								
都道府県	13名																								
市町村	名																								
森林組合	名																								
林業事業者(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	23名																								
<p>下列の仕様に関する現地検討会</p>	<p>7月25日</p>	<p>根釧東部森林管理署</p>	<p>別海町(根釧東部森林管理署国有林637林班の小班)</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>21名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>4名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>6名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>4名</td></tr> <tr><td>林業事業者(森林組合を除く)</td><td>8名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>43名</td></tr> </table>	国有林	21名	都道府県	4名	市町村	6名	森林組合	4名	林業事業者(森林組合を除く)	8名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	43名	<p>新たな下列仕様の情報提供及び意見交換</p>	<p>北海道森林管理局の新しい林業(造林)の取組について説明後、署担当者より令和6年度からの新たな下列仕様について、事前に作成した下列モデル箇所において説明。また、業者からリモコン式草刈機の性能等の説明、実演後、参加者がリモコン式草刈機を操作し下列等を行った。 意見交換では「苗木周辺を刈払いしないことによる蒸れや野鼠被害の増加が懸念される」等の意見があった。 今後は、新たな下列仕様による野鼠被害等の状況について検証し、地域林業関係者と情報共有を図っていく考えである。</p>	 <p>下列モデル箇所での新たな下列仕様の説明</p>
国有林	21名																								
都道府県	4名																								
市町村	6名																								
森林組合	4名																								
林業事業者(森林組合を除く)	8名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	43名																								

令和6年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化)

石狩管内市町村地域林政連絡会議 現地検討会	7月25日	石狩森林管理署	当別国有林301林班	国有林	6名	各市町村林務担当者へ林業機械による森林整備を理解していただく	石狩管内市町村地域林政連絡会議の開催をするに当たり、各市町村林務担当者が、近年の林業機械による森林整備に理解が少ないことから、林業機械による作業システムを紹介し、民有林施策に反映していただくことを目的として開催	 市町村職員が林業機械による伐採を見学
				都道府県	7名			
				市町村	11名			
				森林組合	6名			
				林業事業者(森林組合を除く)	名			
				研究機関	名			
				他省庁	名			
				その他	名			
合計	30名	 意見交換をしている様子						
国有林	19名		造林作業の軽労化を目的とした機械下刈について、地域において普及を図るため。	 山もつとモットによる下刈作業の見学状況				
都道府県	16名							
市町村	2名							
森林組合	2名							
林業事業者(森林組合を除く)	12名							
研究機関	名							
他省庁	名							
その他	名							
合計	51名	現地において、トドマツ低密度植栽と造林請負契約した機械下刈の概要説明及び造林請負仕様書のR6年2月改正点を説明し、2機種(乗車型・遠隔操作型)による下刈作業を見学いただいた。 意見交換では、「機械下刈を導入するには伐根の処理がポイント。伐根の処理でコストが掛かり増しとなったとしても、伐採までの保育全体を通してコスト軽減を図れば良いと考える」「林業従事者が減少している状況で下刈の機械化等は喫緊の課題、国有林の先行事例等を参考にしたいため、今後も情報交換を」等の意見があった。 今後は、出された意見等を各種会議等で報告し、地域において同じ目線で機械化が進められるよう取り組んでいく考えである。						
国有林	18名		下刈の省力化・軽労化に向けた機械下刈の現場実証を行い、機械下刈の更なる評価・改善を通じて導入のハードルを下げること。	リモコン式草刈機による下刈作業を見学し意見交換した。 ・導入コストが高い。 ・軽労化になる。 ・軽トラでの搬入できないのは厳しい。 ・思った以上にきれいに刈り払っていた。 ・地形や地表物の障害物の乗り越えなど課題が多い。 等の意見が出された。	 リモコン式草刈機の説明を受けている様子			
都道府県	3名							
市町村	1名							
森林組合	名							
林業事業者(森林組合を除く)	2名							
研究機関	名							
他省庁	名							
その他	2名							
合計	26名							

令和6年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化)

<p>クリーンラーチ植栽箇所成長状況の見学・検討会</p>	<p>7月31日</p>	<p>北空知支署 幌加内町</p>	<p>幌加内国有林52林班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>4名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>2名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>6名</td></tr> </table>	国有林	4名	都道府県	名	市町村	2名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	6名	<p>幌加内町におけるクリーンラーチ植栽の効果等の検証</p>	<p>幌加内町におけるクリーンラーチ苗木の適応状況を確認し、将来的に町有林への導入が可能か検討。他地区より生育が悪い状況だが、今後も経過を観察。雨竜研究林との相互交流の中で検証を行うこととした。</p>	 <p>クリーンラーチ植栽箇所の様子</p>
国有林	4名																								
都道府県	名																								
市町村	2名																								
森林組合	名																								
林業事業体(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	6名																								
<p>後志管内市町村地域林政連絡会議 現地検討会</p>	<p>8月2日</p>	<p>石狩森林管理署</p>	<p>銀山国有林</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>10名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>9名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>9名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>4名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>32名</td></tr> </table>	国有林	10名	都道府県	9名	市町村	9名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	4名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	32名	<p>各市町村林務担当者へ林業機械による森林整備を理解していただく</p>	<p>後志管内市町村地域林政連絡会議の開催をするに当たり、各市町村林務担当者が、近年の林業機械による森林整備に理解が少ないことから、林業機械による作業システムを紹介し、民有林施策に反映していただくことを目的として開催し、意見交換を実施</p>	 <p>市町村職員が林業機械による伐採を見学</p>  <p>意見交換をしている様子</p>
国有林	10名																								
都道府県	9名																								
市町村	9名																								
森林組合	名																								
林業事業体(森林組合を除く)	4名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	32名																								
<p>造林・保育事業等の省力化・効率化に向けた機械実演会</p>	<p>8月22日</p>	<p>主催：渡島総合振興局東部森林室 共催：渡島森林管理署</p>	<p>北斗市村山 (きじひき高原キャンプ場 向かい)</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>27名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>33名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>8名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>8名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>14名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>11名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>101名</td></tr> </table>	国有林	27名	都道府県	33名	市町村	8名	森林組合	8名	林業事業体(森林組合を除く)	14名	研究機関	名	他省庁	名	その他	11名	合計	101名	<p>林業労働者の高齢化・若年労働者の少ない状況下での、造林等作業の省力化・軽労化の検討をする実演会</p>	<p>造林事業関連の機器による操作実演を行った。 ・リモコン式草刈機〈agri9500、アラフォー傾子〉・苗木運搬ドローン〈森飛〉・充電式運搬車〈マキタ〉・充電式アースオーガ〈マキタ〉・衛星インターネットサービス〈スターリンク〉 実演会では、参加者の関心として、①苗木運搬ドローン、②充電式運搬車、③リモコン草刈機の順になった 草刈機は、作業環境(急峻地形・伐根)での実用化について、情報交換の場は必要だと思ふ為継続してほしいなどの意見があった</p>	 <p>リモコン式草刈機の操作実演(アラフォー傾子)</p>
国有林	27名																								
都道府県	33名																								
市町村	8名																								
森林組合	8名																								
林業事業体(森林組合を除く)	14名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	11名																								
合計	101名																								

令和6年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化)

<p>石狩空知地域林政連絡会議 現地検討会</p>	<p>9月10日</p>	<p>石狩森林管理署 空知森林管理署 北空知支署 石狩振興局 空知振興局 各森林室</p>	<p>南空知森林組合 2林班 382小班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>8名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>16名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>2名</td></tr> <tr><td>林業事業者(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>26名</td></tr> </table>	国有林	8名	都道府県	16名	市町村	名	森林組合	2名	林業事業者(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	26名	<p>今後の民国双方の造林作業の省力化及びヒグマ被害防止</p>	<p>民国共通の課題である「造林作業の省力化」について情報交換を行い、認識を一致させつつ、次の展開を図るべき実施と空知総合振興局林務課職員がヒグマに襲われる被害にあったことにより、情報の共有を図る方法を探った。</p>	 <p>室内会議で意見交換の様子</p>  <p>コンテナ苗植栽地(民有林)で意見交換している様子</p>
国有林	8名																								
都道府県	16名																								
市町村	名																								
森林組合	2名																								
林業事業者(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	26名																								
<p>民有林における乗車型自走式草刈機を活用した実演会</p>	<p>9月19日</p>	<p>主催：上川南部森林管理署</p>	<p>南富良野町(民有林19林班 37、63小班)</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>6名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>4名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>2名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>12名</td></tr> <tr><td>林業事業者(森林組合を除く)</td><td>1名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>27名</td></tr> </table>	国有林	6名	都道府県	4名	市町村	2名	森林組合	12名	林業事業者(森林組合を除く)	1名	研究機関	名	他省庁	名	その他	2名	合計	27名	<p>下刈作業の効率化に向け、乗車型自走式草刈機に関する知見を深めるため</p>	<p>南富良野町の民有林において①乗車型自走式草刈機の実演及び試乗体験、②国有林の「新しい林業」の取組(機械下刈りの実施状況、下刈の簡略化等)について説明、③意見交換を行った。</p> <p>意見交換では、機械を試乗体験して、「エンジンの大きさの割に登坂能力や横傾斜における適応性は想像以上だった。」「大きなトラックを用意しなくても運搬でき、地拵から下刈まで使用できる点も良い。」などの感想や、「国有林の「新しい林業」の取組を聞いて、民有林では森林所有者の意向や補助要件などがあり、実証ベースで事業を行うことが難しいため、国有林で新しい取組に挑戦し、その知見を民有林に普及してもらいたい。」等の意見があった。</p>	 <p>乗車型自走式草刈機の試乗体験の様子</p>
国有林	6名																								
都道府県	4名																								
市町村	2名																								
森林組合	12名																								
林業事業者(森林組合を除く)	1名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	2名																								
合計	27名																								
<p>造林作業の省力化・効率化等に関する研修</p>	<p>10月9日</p>	<p>一般社団法人 北海道造林協会</p>	<p>網走西部署：337林班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>22名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>5名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業者(森林組合を除く)</td><td>21名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>1名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>5名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>54名</td></tr> </table>	国有林	22名	都道府県	名	市町村	5名	森林組合	名	林業事業者(森林組合を除く)	21名	研究機関	1名	他省庁	名	その他	5名	合計	54名	<p>下刈作業の軽労化・効率化に資する機械の普及のため。</p>	<p>多目的造林機械(山もつとモット)とラジコン式下刈機(山なみ傾子)の活用方法と実演体験会を実施した。</p> <p>実際に傾斜20°を超える林内で、林業事業者の者にも操作を体験してもらうことでより実践的な研修となった。</p>	 <p>山もつとモットの操作等説明</p>  <p>操作体験の様子</p>
国有林	22名																								
都道府県	名																								
市町村	5名																								
森林組合	名																								
林業事業者(森林組合を除く)	21名																								
研究機関	1名																								
他省庁	名																								
その他	5名																								
合計	54名																								

令和6年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化)

<p>「表土戻し」地拵による広葉樹育成の現地検討会</p>	<p>10月10日</p>	<p>上川中部森林管理署</p>	<p>美瑛町</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>34名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>1名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>5名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>0名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>2名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>5名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>0名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>4名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>51名</td></tr> </table>	国有林	34名	都道府県	1名	市町村	5名	森林組合	0名	林業事業体(森林組合を除く)	2名	研究機関	5名	他省庁	0名	その他	4名	合計	51名	<p>広葉樹資源の育成に資する「表土戻し」地拵の普及を図るため。</p>	<p>「表土戻し」地拵のこれまでの取組事例について、上川中部署・北空知支署・北大雨龍研究林の各機関から説明した後、「表土戻し」のデモンストレーションを行った。 意見交換では、作業のポイントや適地の見極め等に関する質問が参加者から上がり、これまでの事例を踏まえ回答した。また、「今後のカンバ需要を踏まえた上で更新量を検討すべき」との意見も上がった。 今後も上川中部署では「表土戻し」地拵に継続して取り組み、情報発信していく考えである。</p>	 <p>デモンストレーション後、作業のポイントについて雨龍研究林職員より説明。</p>
国有林	34名																								
都道府県	1名																								
市町村	5名																								
森林組合	0名																								
林業事業体(森林組合を除く)	2名																								
研究機関	5名																								
他省庁	0名																								
その他	4名																								
合計	51名																								
<p>遠軽町・遠軽地区森林組合との下刈省力化等の意見交換会</p>	<p>10月11日</p>	<p>網走西部森林管理署</p>	<p>生田原第一担当区：325林班・瀬戸瀬担当区74林班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>4名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>4名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>3名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>11名</td></tr> </table>	国有林	4名	都道府県	名	市町村	4名	森林組合	3名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	11名	<p>造林の低コスト化について、町の林務担当者、森林組合の職員を対象に、国有林での事例を紹介し、民有林への活用・普及の参考としてもらうため。</p>	<p>「造林の低コスト化に向けた意見交換会」として①下刈省力化②大型機械での全刈地拵・植付箇所概要説明と意見交換を行った。 参加者からは、下刈の2条植え箇所の列間みの下刈について被りでの不安、補助金メニュー的に合致するのかと言った意見があった。 大型地拵の全刈箇所では、表土を全て剥ぐため作業時間が樹かり増しになるのではとの声や確かに植生の回復に時間がかかるので、翌年以降は下刈が不要になることは理解できるとの声があった。 次年度以降も同じ箇所を見てもらい、現地状況を把握してもらう。</p>	 <p>意見交換の様子</p>
国有林	4名																								
都道府県	名																								
市町村	4名																								
森林組合	3名																								
林業事業体(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	11名																								
<p>クリーンラーチコンテナ苗及び複層伐に関する勉強会</p>	<p>10月24日</p>	<p>上川南部森林管理署</p>	<p>上川南部森林管理署 9林班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>5名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>6名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>11名</td></tr> </table>	国有林	5名	都道府県	名	市町村	名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	6名	他省庁	名	その他	名	合計	11名	<p>クリーンラーチコンテナ苗を活用することのメリットや国有林における複層伐に関する施策方法について理解を深めてもらうため。</p>	<p>南富良野町の国有林において①複層伐の施策方法及びクリーンラーチコンテナ苗を活用することのメリット等について説明②国有林の「新しい林業」の取組(大型機械下刈りの実施状況、下刈の簡略化等)について説明、③意見交換を行った。 意見交換では、コンテナ苗について、「植栽時期は選ばないのか」、「野鼠対策は行っているのか」等の質問が寄せられるなど、関心の高さが伺えた。複層伐については、「植栽方法や事業の発注方法、区域の測量島はどのように行っているのか」等の質問があり、国有林における複層伐の施策方法に関する理解を深めてもらった。</p>	 <p>クリーンラーチコンテナ苗及び複層伐に関する勉強会の様子</p>
国有林	5名																								
都道府県	名																								
市町村	名																								
森林組合	名																								
林業事業体(森林組合を除く)	名																								
研究機関	6名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	11名																								

令和6年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化)

<p>造林作業の軽労化(植付)に関する現地検討会</p>	<p>10月24日</p>	<p>根釧東部森林管理署</p>	<p>国有林 452林班に1小班</p>	<p>○</p> <table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>12名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>4名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>3名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>0名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>7名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>0名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>0名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>26名</td></tr> </table>	国有林	12名	都道府県	4名	市町村	3名	森林組合	0名	林業事業体(森林組合を除く)	7名	研究機関	0名	他省庁	0名	その他	0名	合計	26名	<p>植付作業の軽労化に向けた電動苗木運搬車の導入に関する意見交換</p>	<p>新しい林業に向けた取り組みについて説明後、電動苗木運搬車の操作方法について説明、今年度植栽箇所において、苗木を乗せて参加者に操作してもらい、意見交換を行った。 意見として、「スピードがもう少し出たほうがよい。」「傾斜によってハンドル位置が高くなりすぎ操作しづらいので、適宜ハンドル位置を調整できるとよい。」との話があった。 また、アンケートで参加者より、造林作業の機械化による軽労化推進のため、現地検討会開催の要望があったことから、来年度以降も取り組むこととしている。</p>	 <p>電動苗木運搬車の操作方法等について説明</p>
国有林	12名																								
都道府県	4名																								
市町村	3名																								
森林組合	0名																								
林業事業体(森林組合を除く)	7名																								
研究機関	0名																								
他省庁	0名																								
その他	0名																								
合計	26名																								
<p>造林低コスト化に向けた現地勉強会</p>	<p>10月28日</p>	<p>留萌北部森林管理署</p>	<p>羽幌国有林2129林班(雨天により羽幌町中央公民館)</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>16名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>6名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>4名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>26名</td></tr> </table>	国有林	16名	都道府県	6名	市町村	4名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	26名	<p>新しい林業における「造林低コスト化」をテーマに北海道振興局や町村職員と意見交換し情報共有を図るため。</p>	<p>当日は雨天のために羽幌町公民館にて資料を説明して意見交換を実施した。 意見交換では低密度植栽についての不安や急傾斜地においてはどのような作業となるか等の質問がされた。 今後はモニタリング調査箇所でもあることから、定期的に生育調査を行うとともに現地検討会を開催して情報共有を図っていきたい。</p>	 <p>下刈仕様について説明</p>
国有林	16名																								
都道府県	6名																								
市町村	4名																								
森林組合	名																								
林業事業体(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	26名																								
<p>地域に適した造林技術の検討会</p>	<p>10月29日</p>	<p>主催：根室振興局森林室 共催：根釧東部森林管理署</p>	<p>国有林1121林班い1小班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>10名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>10名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>6名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>7名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>6名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>39名</td></tr> </table>	国有林	10名	都道府県	10名	市町村	6名	森林組合	7名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	6名	合計	39名	<p>自治体林務担当者等地域の林業に携わる関係者へICT活用による森林管理や機械による効率的な造林作業などスマート林業に関する知識の向上を図る。</p>	<p>根釧東部署より、電動苗木運搬車活用による効率的な造林作業を推進するため、新しい林業に向けた取り組みの説明及び実演後、参加者に操作してもらい、知識の向上を行った。 根室振興局森林室より、地上レーザー計測による森林資源の把握として、LiDAR及びmapry林業による森林調査を国有林アカエゾマツ造林地で実施し、その結果の取り纏め方法等について座学により説明があった。</p>	 <p>電動苗木運搬車の操作方法等について説明</p>
国有林	10名																								
都道府県	10名																								
市町村	6名																								
森林組合	7名																								
林業事業体(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	6名																								
合計	39名																								

令和6年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化)

<p>東大雪支署地域「効率的な造林技術の普及」現地見学会</p>	<p>11月6日</p>	<p>主催：東大雪支署 共催：北海道森林管理局 森林整備第一課</p>	<p>東大雪支署1319林班</p>	<p>○</p> <table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>17名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>3名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>8名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>28名</td></tr> </table>	国有林	17名	都道府県	3名	市町村	8名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	28名	<p>令和6年度東大雪支署地域取組課題として効率的な森林整備に向けた取組として「効率的な造林技術の普及」をテーマに「クリーンラーチコンテナ苗による下刈箇所」検証している箇所について、各町(上土幌町・新得町・土幌町・鹿追町)林務担当者、十勝総合振興局森林室普及課及び北海道森林管理局森林整備第一課出席のもと現地見学会を実施し意見交換した。</p>	<p>①北海道森林管理局重点事項の取組について(造林事業関係)の概要説明 ②クリーンラーチコンテナ苗による下刈省略について概要説明 ③盛土地拵についての概要説明 ④意見交換 ・大型機械地拵の方法 ・植栽方法 ・ネズミ等の被害状況 ・クリーンラーチ苗の現生存率等の意見が出されました。</p>	 <p>概要説明の様子</p>
国有林	17名																								
都道府県	3名																								
市町村	8名																								
森林組合	名																								
林業事業体(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	28名																								
<p>令和6年度伐採造林一貫作業現地検討会</p>	<p>11月7日</p>	<p>檜山・渡島・後志森林管理署 函館事務所 駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター 渡島総合振興局林務課・東部森林室・西部森林室 檜山振興局林務課・森林室 市町村林務担当者・森林組合(令和6年度第3回渡島檜山地域林政連絡会議)</p>	<p>檜山森林管理署 南館森林事務所内 沼ノ沢国有林 246へ林小班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>18名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>10名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>5名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>2名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>35名</td></tr> </table>	国有林	18名	都道府県	10名	市町村	5名	森林組合	2名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	35名	<p>市町村森林整備計画の変更により、伐採・造林一貫作業について記述が追加された。このため、市町村林務担当者へ、導入の検討も含め林務知識の一助となるよう、当署一貫作業実行地において、現地検討会を開催し、仕様等についての説明と意見交換を行う。</p>	<p>昨年度末、渡島檜山地域林政連絡会議にて、市町村林務担当者をサポートするべく、現地検討会の開催を企画提案した。11月7日当署の「一貫作業」を実施している製品生産事業(地拵作業)にて、現地検討会を開催。 現地では、地拵・森林作業道規格・主伐下においての伐根処理等、各作業種の仕様について質問が多く出された。併せて、検討会終了後、一貫作業の実施状況や関心のある林業技術等地域課題の掘り出しとしてアンケートを実施した。(集約後、協議会へ情報提供予定)</p>	 <p>一貫作業の現地確認</p>  <p>意見交換の様子</p>
国有林	18名																								
都道府県	10名																								
市町村	5名																								
森林組合	2名																								
林業事業体(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	35名																								
<p>赤井川・積丹地域森林整備推進協定合同検討会</p>	<p>11月19日</p>	<p>石狩森林管理署、赤井川村、積丹町、後志総合振興局森林室</p>	<p>積丹町野塚、婦美、積丹町役場会会議室</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>4名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>3名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>5名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>12名</td></tr> </table>	国有林	4名	都道府県	3名	市町村	5名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	12名	<p>赤井川・積丹地域森林整備推進協定合同現地検討会</p>	<p>積丹地域森林整備推進協定では、締結3者の合同森林整備を事業の発注時期の統一化、共同土場の活用、製品の同時期の販売など、極力統一化し有利販売や事業者のコスト低減を図ることを主眼に令和2年度に実施した結果、非常に良好であったことから、令和6年1月期に締結した赤井川地域森林整備推進協定においても、同様の取組展開を考えており、参考とすべく積丹町との意見交換を実施する。</p>	 <p>ストックヤード現地</p>  <p>積丹町会議室で意見交換の様子</p>
国有林	4名																								
都道府県	3名																								
市町村	5名																								
森林組合	名																								
林業事業体(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	12名																								

令和6年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化)

<p>民有林における機械による下刈の現地検討会 フォローアップ意見交換会</p>	<p>11月28日</p>	<p>上川北部森林管理署 下川町</p>	<p>下川町総合福祉センター 「ハピネス」</p>	<p>国有林 14 名</p>	<p>7月に実施した機械下刈り 現地検討会のアンケート結果 から見えた課題の解決に向け たフォローアップや、情報に 乏しいと感じている民有林関 係者の声に答える意見交換 会。</p>	<p>上川北部署での取組み実績、北海道森林管理 局森林整備第一課から北海道国有林の「造林作 業の効率化・省力化」取組み成果、北海道水産 林務部森林整備課および上川総合振興局北部森 林室から「下川町有林における下刈作業の実証 について」、下川町から「スマート林業の実現 性について」説明。その後の意見交換で「機械 使用時の人件費の考え方」「機種選定の考え 方」「伐根処理と植付間隔」「下刈りの仕様」 「機械導入への補助金」等、多くの意見・質問 が出され認識を深めることが出来た。近い将 来、現在以上に労働力不足が深刻化することは 明白であり、それに伴い機械の力がますます必 要となることを再確認した。</p>	 <p>上川北部署の取組を説明</p>
				<p>都道府県 7 名</p>			
				<p>市町村 3 名</p>			
				<p>森林組合 2 名</p>			
				<p>林業事業体（森 林組合を除く） 5 名</p>			
				<p>研究機関 名</p>			
				<p>他省庁 名</p>			
				<p>その他 名</p>			
				<p>合計 31 名</p>			
<p>赤井川村有林ストックヤード予定地現地検討会</p>	<p>12月16日</p>	<p>赤井川村・石狩森林管理署</p>	<p>赤井川村村有地</p>	<p>国有林 8 名</p>	<p>赤井川地区森林整備推進協 定に基づき共同土場（スタッ クヤード）を設置するため。</p>	<p>赤井川地区森林整備推進協定に基づき共同土 場（ストックヤード）の適地選定にあたって、 村より提供のあった箇所について、RTKドロー ンを活用した測量、立木調査、運用方法の検討 を村と署職員により実施した。</p>	 <p>赤井川ストックヤード調査前</p>  <p>赤井川ストックヤード調査中</p>
				<p>都道府県 名</p>			
				<p>市町村 3 名</p>			
				<p>森林組合 名</p>			
				<p>林業事業体 （森林組合を 除く） 名</p>			
				<p>研究機関 名</p>			
				<p>他省庁 名</p>			
				<p>その他 名</p>			
				<p>合計 11 名</p>			